

～ 海外市場への販路開拓について ～

(みやぎの中小企業マーケティング活動支援事業「マーケティング型」)

桜井こけし店

事業概要

桜井家は、大崎市鳴子で先祖代々こけしをつくり続けてきました。その歴史は江戸時代に遡り現在は5代目桜井昭寛氏が先達の精神や技術を受け継ぎながら、新たな表現と結びつけ発展させています。同氏の製作するこけしは、全国こけし祭りのコンクールにおいて文部科学大臣賞を史上最多の3度受賞。鳴子温泉を訪れる旅行者からも土産物として人気があり、こけしの専門家や一般の消費者から高い評価を受けています。

今般、国外の一般市場への進出を目指し、マーケティング専門家の(株)コミュニナとともにみやぎの中小企業マーケティング活動支援事業「マーケティング型」を活用。同社がフランス、イタリアの市場調査を行い、こけしを高価格帯の「ギフト」として訴求。どのような場面に購入機会があるのか、こけしの中でもどのようなタイプ・サイズが好まれるのか、海外市場で受け入れられるためには何か変化が必要か、などについてニーズの抽出と分析を連携して行いました。

この活動の結果をふまえて、海外市場ニーズに適合したこけしの試作品を開発。パステルカラーを使った海外用の新作「Hagoromo」を生み出しました。その後、同事業における販路開拓活動として「メゾン・エ・オブジェ 2017 January」に「Hagoromo」や伝統こけしを出品。英国の「ポール・スミス」や文房具販売(株)マークス(東京)のフランス現地法人との取引につながり、同事業での成果を足がかりに、現在も海外市場での販路を開拓しています。

企業の声

海外の展示会や店舗でリサーチを行ってもらうことでどのようなこけしがどのような価格でバイヤーや店舗に求められているかを実感し、それに基づき「Hagoromo」の開発を進めることができたのが有意義に感じました。

また、同事業で販路開拓活動が含まれていたことで、リサーチと開発だけにとどまらず、その開発の成果を実際の見本市や商談成約に結びつけることができたということも、非常に大きな意味がありました。

現地声をベースにした設計とマーケティング専門家である(株)コミュニナとの密な連携によって、良いプロジェクトができたと感じています。



[Hagoromo]



[桜井こけし店外観]

企業概要

代表者 : 代表 桜井 昭寛

住所 : 大崎市鳴子温泉湯元 26-6

電話 : 0229-83-3460

E-mail : mail@sakuraikokeshiten.comURL : <http://www.sakuraikokeshiten.com/>

業種 : こけし製造販売

主要製品 : 鳴子こけしなど

みやぎの中小企業マーケティング活動支援事業「マーケティング型」は、県内中小企業が生み出した製品又は技術の市場ニーズに適合した製品化を支援し、販路開拓又は販路拡大を図るためのマーケティング調査等を外部専門家に委託して実施する事業です。